

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	1	
事業名	環境衛生経費	会計	款	項	目
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	1	4
施 策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動や環境美化活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 町内における環境測定結果の報告及び「桑名・員弁広域環境基本計画」の内容を協議するため、東員町環境審議会を開催する。 町内の環境美化運動を実施した団体に報償金を交付するなど、まちづくりの美化活動が活発に行われるよう継続して支援する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	環境活動団体数	47			団体	↑
2	公共施設のCO ₂ 排出量	2,736			t-CO ₂ /年	↓	2,457
3							
4							
5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			4,411	4,942	4,950		
財源内訳	直接事業費 A		2,035	1,774	792		
	うち一般財源		2,035	1,774	0		
人件費 (千円) B			2,376	3,168	4,158		
内訳	一般職員 (人・千円)	0.36	2376	0.48	3168	0.63	4158
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	クリーン作戦委員会がR2年度で廃止となったため、委員会が行っていた環境啓発活動について、今後は行政から情報発信していく。また、環境美化報奨金制度が令和3年度で廃止となるが、地域コミュニティ再生応援交付金を活用していく。	③取組の課題	町内企業及び住民の参加で行ってきた環境美化活動が、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため実施できなかった。
②R3年度に実施した取り組み	三和小学校及び笹尾東4年生に対しごみの行方及びバッカー車の仕事と仕組みについて環境学習を実施。また、三和小学校及び稲部小学校4年生に対して資源ごみストックヤードにおいて、資源ごみがリサイクルされる仕組みについて環境学習を実施した。	④今後の改善計画	環境美化報奨金制度が廃止となるが、自治会が行う環境美化活動に対してごみ袋の配布及びごみの回収など活動の支援は継続していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	6-	2
事業名	狂犬病予防対策経費	
会計	款	項
一般	4	1
目		4
課名	みらい環境課	
係名		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	犬の飼い主	目的 (対象がどのような状態になっているか)	狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、畜犬登録を行い予防接種率の向上を図り、環境被害のない健全な生活環境を作る。
事業内容	狂犬病予防法により、狂犬病の発生及び蔓延を防止するため、犬の飼い主に義務付けられた犬の登録と予防接種率の向上を図り、注射済票の交付を行ない、環境被害のない健全な生活環境を作る。また、畜犬所有者の転出入者の取り扱い、各市町村・保健所からの照会への対応、原簿登録の管理を行っている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1 狂犬病予防注射接種率	89			%	↑	96
	2						
	3						
	4						
	5						
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			3,342	5,519	4,476		
財源内訳	直接事業費 A		1,494	2,879	1,506		
	うち一般財源		292	1,646	235		
人件費 (千円) B			1,848	2,640	2,970		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.28	1848	0.4	2640	0.45
	臨時職員 (人・千円)			0		0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	自治会、動物病院、保健所等と協力し、未登録、未接種犬の防止に努める。野良猫の増加防止のため、TNR事業を実施していく。避妊去勢補助については、野良犬野良猫の防止にも繋がることから、一旦終期設定は行うが、近隣市町の動向を見ながら継続していく。	③取組の課題	新型コロナウイルス感染予防対策の観点から、集合注射の継続について獣医師会と協議しながら検討する必要がある。また、ペットの飼養マナーについて、飼い方のマナー向上等周知啓発を行っていく必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	狂犬病予防法に基づき4月に集合注射を実施。また、飼い主のいない猫に対してTNR事業を実施した。	④今後の改善計画	自治会、動物病院、保健所等と協力し畜犬の未登録、狂犬病予防注射の未接種の防止に努める。野良猫の増加防止対策として、自治会及び地域住民の協力を得ながらTNR事業を実施していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	3
事業名	公害対策経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	1	5
施策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。公害等環境問題への対応として、水質汚濁をはじめ、騒音、悪臭、振動などの公害に対する監視・指導を推進し、未然防止及び適切な対応を図るため、環境基本法令等により、町内における水質検査等の環境測定を定期的実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1	環境測定値の基準値内率	89			%	↑	92
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			5,312		8,269		7,815	
財源内訳	直接事業費 A		4,388		4,507		5,175	
	うち一般財源		4,388		4,507		5,175	
人件費 (千円) B			924		3,762		2,640	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.14	924	0.57	3762	0.4	2640
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	環境基準値を超える原因に対し指導できる場合は、三重県と共に指導を行う。自然由来のものは経過観察とする。	③取組の課題	各種環境測定において、基準値を超過した場合、原因特定が必要である。
②R3年度に実施した取り組み	町内での大気・水質等環境保全に係る監視箇所を設定し、環境騒音測定、公害水質検査を行い住民が生活を快適に過ごせるよう努めた。また、測定結果で基準値超過したものについては、再調査を行うなど原因究明を図った。	④今後の改善計画	環境基準値を超えた原因に対し、指導できる場合は三重県と共に指導を行う。自然由来のものについては経過観察をする。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	4	
事業名	塵芥処理経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	2	1
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	ごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行う。
事業内容	広域的な処理体制のもと、ごみの適正排出、分別の徹底を行い関係法令に即した効率的で衛生的な分別収集体制の中で、委託業者により一般家庭から排出される、可燃ごみ、不燃ごみ、プラスチックごみを収集する。 また、粗大ごみについては、各学校区別に年4回の搬入日を指定し、個人が家具・布団類・金属・小型家電等回収場所の分類に分けた搬入を行ない、町で処分する。 不法投棄については、啓発車両でのパトロールを行いながら、不法投棄されたごみを発見したら回収し処分を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	町民1人あたりのごみ排出量	174			kg/年	↓
2	不法投棄件数	66			件/年	↓	↓
3							
4							
5							
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B		262,555		267,726		270,027	
財源内訳	直接事業費 A	261,631		264,954		266,331	
	うち一般財源	239,792		242,039		230,009	
人件費 (千円) B		924		2,772		3,696	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.14	924	0.42	2772	0.56	3696
	臨時職員 (人・千円)		0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	塵芥収集車2台の追加購入を行い、収集業務が滞りなく行えるようにする。	③取組の課題	ごみ収集業務が滞りなく実施できるよう、車両の整備に努める。ごみ集積所設置補助金は、廃止すると在来地区も戸別回収で対応してもらいたいとの要望が上がる可能性がある。
②R3年度に実施した取り組み	塵芥収集車購入 (新規2台) 既存車両1台廃車 ごみ集積所の整備 4自治会	④今後の改善計画	ごみ収集業務が滞りなく実施できるよう環境整備を行う。また、ごみ集積所設置補助金は集積所の維持管理に必要な支援として継続していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	5
事業名	ごみ減量・再資源化事業費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	2	1
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。
事業内容	一般家庭から排出される資源ごみを分別処理し再生利用可能な資源ごみを分別回収することで、ごみの減量化・資源循環を図る。 家庭から排出される資源ごみ〔缶・びん・新聞・雑誌・段ボール・雑紙・飲料用紙パック・ペットボトル・布・廃食油・小型家電〕を委託業者により分別収集し、各品目ごとに再生利用先へ搬入し処理を行っている。町内の各団体が収集した資源ごみ（紙・布）について、1kgあたり6円の補助金を交付している。 ごみの減量・分別・リサイクルへの啓発を目指し、生ごみ処理機やコンポストの購入者に対し購入補助金を交付している。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1	資源ごみ回収量	1,206,699			kg/年	↓	1,161,000	
2	環境に配慮した生活をしている町民の割合	-			%	↑	81		
3	3R運動をしていると答える割合	-			%	↑	68		
4									
5									
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			31,273		25,708	29,641			
財源内訳	直接事業費A		29,821		22,672	27,001			
	うち一般財源		27,700		19,292	24,890			
人件費（千円）B			1,452		3,036	2,640			
内訳	一般職員（人・千円）		0.22	1452	0.46	3036	0.4	2640	
	臨時職員（人・千円）			0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	資源ごみ収集団体育成補助金については、ごみ減量の推進のため継続していく。また、生ごみ処理機補助金について、一般廃棄物処理基本計画の計画終期である令和5年度までは継続し、その後廃止する。	③取組の課題	生ごみ堆肥化事業について、後継者問題も含め今後の継続等協議が必要。
②R3年度に実施した取り組み	資源ごみ収集団体及び生ごみ堆肥化容器等購入者への補助金の交付を行った。	④今後の改善計画	資源ごみ収集団体育成補助金は、資源ごみの分別啓発及び意識付けにもつながることから今後も継続していく。生ごみ堆肥化容器等購入補助金は、令和5年度以降廃止する終期設定がされているが状況を鑑み検討すること。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	6	
事業名	ごみ処理施設維持管理経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	2	1
施策	9-4 低炭素・循環型社会の形成	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	住民がごみの適正排出、分別の徹底を行い効率的で衛生的なごみ収集を行うことができています。
事業内容	住民がごみの適正排出、分別の徹底を行ない、いつでも排出できる環境を整備し、効率的で衛生的なごみの排出を行うため、最終処分場及び、資源ごみストックヤード施設の維持管理に努めます。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				13,056	23,093		93,062	
財源内訳	直接事業費 A			11,736	21,443		89,432	
	うち一般財源			11,736	21,443		9,898	
人件費 (千円) B				1,320	1,650		3,630	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.2	1320	0.25	1650	0.55	3630
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	最終処分場の拡張変更届出を県に行い、施設利用の延命化を図る。 また、R4年度から複数年では是正工事を行う。	③取組の課題	最終処分場の変更届出を提出するには、住民への公告縦覧が必要である。
②R3年度に実施した取り組み	東員町最終処分場施設再整備計画策定を行い、計画策定に必要な生活環境影響調査を実施した。	④今後の改善計画	県へ最終処分場変更届出提出を行い、入札に向けて事業を進め工事を円滑に実施する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	7	
事業名	し尿処理経費	会計	款	項	目
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	2	2
施 策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	し尿処理にかかる桑名・員弁広域連合への分担金
事業内容	広域連携のもと、し尿や浄化槽汚泥を効率的に処理するため、その処理に伴う経費及び、施設の維持管理、運営に対する経費を分担する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				10,436	12,087		11,341	
財源内訳	直接事業費 A			9,974	10,965		11,077	
	うち一般財源			9,974	10,965		11,077	
人件費 (千円) B				462	1,122		264	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.07	462	0.17	1122	0.04	264
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	桑名・員弁広域環境基本計画の共通評価基準について、構成市町にて統一した内容が妥当であるか検討していく。	③取組の課題	桑名・員弁広域環境基本計画における評価項目に対する効果を分かりやすくするため、評価基準の見直しを検討する。
②R3年度に実施した取り組み	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため環境審議会の開催が中止となったことから、桑名・員弁広域環境基本計画の共通取り組み及び東員町での取り組みについて取りまとめ、環境審議会委員に書面で報告を行った。	④今後の改善計画	作業部会において統一した共通評価基準の内容が妥当であるか検討していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	8		
事業名	合併処理浄化槽事業費			会計 一般	款 4	項 2	目 2
政策	9 持続可能な町の形をつくるために			課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進			係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	公共下水道認可区域外世帯への合併浄化槽の普及促進を図り、環境負荷削減を行う。
事業内容		公共下水道認可区域外世帯への合併浄化槽の普及促進を図り、環境負荷削減を行うため、公共下水道認可区域外でくみ取り便所又は、単独浄化槽を設置している世帯等が合併処理浄化槽に改造する場合及び新設時に設置する場合に補助金の交付を行う。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			284		1,944		884		
財源 内訳	直接事業費 A		20		1,020		620		
	うち一般財源		20		1,020		620		
人件費 (千円) B			264		924		264		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.04	264	0.14	924	0.04	264	
	臨時職員 (人・千円)			0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	特になし	③取組の課題	特になし
②R3年度に実施した取り組み	合併処理浄化槽設置整備補助金交付 2件	④今後の改善計画	特になし

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	9	
事業名	斎苑管理運営経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	6
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	施設の安定した稼働とサービス提供ができています。
事業内容	施設の安定した稼働と利用者サービスを行う。 東員町斎苑は昭和61年に竣工し、令和2年度で34年が経過した。東員町斎苑中長期整備計画及び東員町斎苑個別施設計画のもと、計画的な修繕と改修を行い施設の長寿命化を図る。 ・火葬炉等更新工事 令和3年度からの2ヶ年で、火葬炉（人体炉3基と動物炉1基）の更新を行う。 本年度は電気設備工事や機械設備工事、外構工事等を実施する			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	葬祭場・斎苑に対する満足度	96				%	↑
2								
3								
4								
5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			49,801		19,471		269,732	
財源内訳	直接事業費 A		48,217		17,887		267,818	
	うち一般財源		19,068		11,316		12,216	
人件費 (千円) B			1,584		1,584		1,914	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.24	1584	0.24	1584	0.29	1914
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、火葬炉等更新工事を発注する。	③取組の課題	昭和61年に開設した斎苑は、既に35年が経過しており、火葬炉、電気設備等、随所に経年劣化が見られ、長寿命化に向け改修の必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、火葬炉等更新工事を2ヵ年計画で開始した。	④今後の改善計画	平成28年度に策定した、斎苑中長期整備計画及び斎苑個別施設計画に基づき、計画的に改修していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	10	
事業名	墓地公園管理運営経費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	1	7
施策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	墓地公園利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	やすらぎのあるより良い環境づくりを進め、墓地公園利用者が気持ちよく過ごせるよう計画的な維持管理を行う。
事業内容	やすらぎのあるより良い環境づくりを進め、墓地公園が気持ちよく利用できるよう、使用者からの管理料を財源として、適正な維持管理を行う。 また、使用者から返還された区画（空き区画）については、随時募集を行い、新たな使用者を決める。 ・墓地公園トイレ施設等改修工事 老朽化したトイレを改修し、バリアフリー化する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度（決算）		令和3年度（決算）		令和4年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B			4,515		11,208		20,592		
財源内訳	直接事業費A		3,591		10,284		18,612		
	うち一般財源		1,249		1,734		2,612		
人件費（千円）B			924		924		1,980		
内訳	一般職員（人・千円）		0.14	924	0.14	924	0.3	1980	
	臨時職員（人・千円）		0	0		0		0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善（少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	墓地公園トイレのバリアフリー化を計画している。	③取組の課題	墓地離れの傾向が散見され、今後、墓地継承が難しくなっていくことが危惧される。
②R3年度に実施した取り組み	墓地公園トイレのバリアフリー化を実施した。	④今後の改善計画	墓地離れの動向を注視しつつ、今後の墓地の利活用について検討していく。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	6-	11	
事業名	基金積立金	会計	款	項	目
政 策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	4	1	7
施 策	9-5 環境衛生対策の推進	課名	みらい環境課		
		係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	墓地公園利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	利用者から納付された管理料を基金とし、適正に管理する。
事業内容	墓地公園の適正な管理に必要な財源を確保する。 墓地公園使用者から納付される管理料を基金として積み立て、墓地公園管理運営経費の財源とする。 令和4年3月末現在基金残高 (38,619,902円) ※令和4年度から、墓地公園管理運営経費に統合。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			880		398		0		
財源内訳	直接事業費 A		814		332		0		
	うち一般財源		698		320		0		
人件費 (千円) B			66		66		0		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.01	66	0.01	66	0	0	
	臨時職員 (人・千円)		0	0		0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継 続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	墓地公園に大きな修繕が必要となった時に財源とすべく適正な基金管理を行う。	③取組の課題	適正な墓地公園の維持管理と基金管理
②R3年度に実施した取り組み	墓地公園維持管理経費への繰り入れを実施した。	④今後の改善計画	墓地公園に大きな修繕が必要となった時に財源とすべく適正な基金管理を行う。